

OURA TOWN

Public Relations

12

DECEMBER
2013

何が当たるかな？

【街角特派員レポート】 邑楽消防団の

若者事情

【Close up ★ 少年の主張】
邑楽南中学校の小林実世さんが
「少年の主張」で優秀賞

【特集】 毎月一回のまごころ定期便

声の広報お届けします

11月3日、役場周辺で第20回邑楽町産業祭が行われました。会場は親子連れなど、多くの来場者でにぎわっていました。（関連記事は27ページ）

消防団の若手が不足している？

私は大学を卒業し、地元邑楽町で就職しました。働き始めた1年目に先輩から声を掛けられ、翌年から消防団に入団しました。当時、消防団がどのような活動をしているのか、まったく知らないうちに返事で「いいですよ」と引き受けました。

入団理由は、声を掛けてくれた先輩が信頼している人であったということや、自分自身いろいろな



街角特派員 橋本健太 (水立大黒・23区)

活動や経験をしてみたいと思っていたからです。当時は「声を掛けてもらって、うれしかったですが」くらいの気持ちでした。

消防団に入団して、今年で5年目になろうとしている私ですが、活動していて疑問に感じたことは、「消防団の若手がひよっとしたら不足しているのではないかな」ということでした。

「若手不足」というのは、決して消防団だけの課題ではなく、他の活動団体や、町の課題として捉えることもできるのではないのでしょうか。

そこで、私の担当する街角特派員レポートでは、消防団の若者事情にスポットを当て、活動を紹介しつつ、課題についてレポートしてみたいと思います。

今回の街角特派員レポートでは、特派員の橋本健太さんが、自身も所属する邑楽消防団の活動を紹介。消防団の現状と抱える課題を、若者目線からレポートします。

邑楽消防団の若者事情

街角特派員レポート



消防団
Volunteer Fire Corps

消防団の基本的なことについて、邑楽消防署の鈴木署長にインタビューしてきました



館林地区消防組合・邑楽消防署 鈴木義男署長

消防団員は、非常勤特別職の地方公務員

今年120周年を迎える消防団

平成25年は自治体消防(市町村単位の消防体制)発足から65周年、全国的に統一した消防組(消防団の前身)がスタートしてから120周年を迎えます。

江戸時代の火消組織は、武家火消と町火消がありました。武家による定火消では、町屋の消火など不十分だったため、8代将軍吉宗は、南町奉行の大岡越前守に命じ、享保3年(1718)、町人による「町火消」を編成させました。「いろは48(じゅっはち)組」などがあるのですが、これが消防団の元祖といわれています。明治時代に入り、武家火消と町火消は廃止。消防組が新たに組織されました。これが消防団の前身です。

街角特派員とは何か？

街角特派員は、読者の皆さんの代表です。各自が「広報おうら」にレポートを掲載。広報担当者や協働で作り上げるレポートです。町づくりへの意見や気になる事業の進捗や状況、または自分が皆さんにアピールしたいことなど、突撃取材と歯に衣着せぬ直言で、皆さんの「そこが知りたい」に答えます。



消防士

消防団員

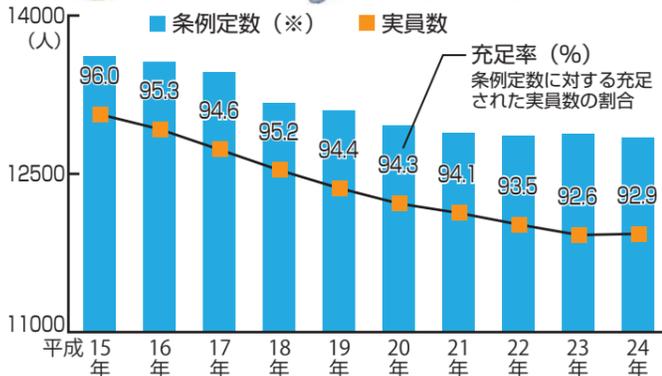
消防署職員と消防団員

館林地区消防組合(※注) 邑楽消防署の職員数は25人。365日24時間勤務で2交代制。二つの隊が一日おきに勤務しています。消防署職員は、常勤の地方公務員です。

一方の消防団員は、普段はそれぞれの仕事をしながら、いざというときに出勤する非常勤特別職の地方公務員です。

館林地区消防組合管内の各消防団の場合、消防団長は消防団の推薦に基づき、館林市長(管理者)が町長(副管理者)の意見を聞き、任命します。団長以

▼群馬県内の消防団員数の推移



資料提供：県消防保安課

(※) 地域の面積や人口、また装備の操作に必要な人員数などから定められる人数

必要不可欠な消防団

消防署としても、消防団の力は必要不可欠。大規模な災害時には、地域のことをよく知っている消防団員は、強い味方になってくれます。

しかし、県内の高齢化の進む地域によっては、消防団員数が減少し、定員数を割ってしまっているところもあります。



消防団の活動とは？

What's 消防団



新入団員の確保に苦戦

現役消防団員に話を聞くと、どの班も一番の課題は、新入団員の確保だといえます。毎年、新入団員を勧誘しに、各班自分たちの管轄地区を回ります。

しかし、お宅を訪問しても、その家の親が出てきて、「家の子は仕事が忙しいから、消防は無理」と言われ、本人と会う機会すらない場合があります。さらに本人と出会えたとしても、やっぱり「仕事が忙しいから」と言われ、断られる場合も少なくありません。

まずは活動を知ってもらうことが大切

消防団は、町内で火災が発生したとき、消防署と協力して消火活動を行います。防災行政無線から出動のアナウンスが町内に流れると、団員は各班の詰め所に行き、消防車両に乗り込み、そして火災現場に向かいます。

一般団員数↓

分団	班	管轄している地区	団員数
第1分団	第1班	横町化楽、上下西宿、光善寺、新中野、明野	12
	第2班	下中野、前谷東原、前瀬戸宿、千原田向地、鶏上、鶏下、鶏新田	11
	第3班	前原、天王元宿、十三坊塚、大根村琵琶首、谷中蛭沼	11
第2分団	第1班	藤川	8
	第2班	一本木、渋沼	9
	第3班	秋妻	8
	第4班	石打、住谷崎	9
第3分団	第1班	西ノ根宮内中島、馬場大林、寺中	9
	第2班	坪谷	9
	第3班	水立大黒、十三軒、十軒	10
	第4班	店高原、本郷江原	8
	第5班	古家、大谷端宿赤東、開拓	8

※邑楽消防団の構成は3分団12班です。団員121人(団長、副団長2人、分団長・副分団長6人、一般団員112人)。

消防団の任務で一番重要なのは、この火災や台風などの災害時の活動です。その他にも、いろいろな行事や訓練があります。4月から翌年の3月までが、消防団の一年の行事や訓練のサイクルになっています。

今回レポートをお届けする12月号が発行される頃は、新入団員の勧誘に動き出す班もあるのではないのでしょうか。地域の若者に向けて、まずは活動を知ってもらうことが大切です。ですから、このページでは消防団の主な行事や訓練を掲載してみました。

●今年退団した先輩にインタビュー

知り合いも増え、貴重な経験に

近所の消防団員に、誘われて平成5年に入団しました。当時23歳。最初は活動内容も分からず、入団に抵抗もありましたが、続けるうちに知り合いも増え、貴重な経験もできました。自営業だから、出動したり行事や訓練に参加したりすると、仕事に影響が出たこともありましたが、両立して続けられました。消防団での思い出は、一生忘れることができません。

↑吉永さんが出場した平成15年のポンプ操法競技大会

吉永隆一さん
(明野・34区)



12月

歳末警戒
毎年28日～31日
夜間、町内を消防車で巡回。

10月

秋季点検
火災の多発時期に向けて行われます。消防車や団員の姿勢服装点検・資器材の点検・ポンプ操法・救急訓練などを行います。

9月

邑楽町防災訓練
(2年に一度開催)
防災訓練は、大型台風や大規模地震を想定して行われます。消防団は、水災防ぎよ活動訓練、密集地建物火災消火訓練などを行います。

5月～6月

ポンプ操法競技大会の訓練始まる
ポンプ操法競技大会に向けて訓練が始まります(毎年5月上旬から)。正規練習は、夜7時半から行われます。

ポンプ操法競技大会
毎年、館林地区消防組合管内で行われる大会。消防団員が、火災現場で対応できる体制の確立を目的としている大会です。
▼競技は簡単に言うと、いかに早く的確に火災に見立てた標的(火点)を放水で倒すか、タイムを競うもの。

4月

消防団の主な活動
新入団員には辞令書が交付され、正式に消防団員となります。また、退団者には感謝状などが贈呈されます。

機関員講習・新入団員研修会
機械器具の使い方を学び、新入団員は敬礼などの訓練礼式を学びます。

辞令書を受け取る
小島さん←

その他の行事や活動

1月に消防隊出初式(会場・館林市)。3月には防火パレード(町内)などを行います。また、おうら祭り(8月開催)の花火打ち上げ時には、会場周辺の警備も行います。

↑消防隊出初式では、部隊進や車両パレードを行います

その地域独自の活動(秋妻地区)

2分団3班の消防サンタ

↑2分団3班では、毎年12月に火災予防活動の一環として、サンタやトナカイにふんした団員が、地域の子もたちにお菓子のプレゼントをしています。地域に根ざした取り組みが行われています

↑水災防ぎよ訓練(防災訓練より)大型台風やゲリラ豪雨などの災害発生時、消防団は水防団として出動します

●今年入団した若者にインタビュー

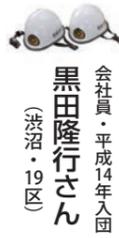
自分にも何かできることはあると考えました

小島啓介さん 会社員
(千原田向地・9区)

入団前から、私は何かのかたちで人の役に立ちたいと考えていました。ですから、人命救助に役立つAED講習も、自分から受講。家の近所の建物火災の現場を目の当たりにしたときも、「自分には何かができるのか」を考えていました。そんな時、先に入団していた高校時代の先輩に声を掛けてもらい、消防団に入団することができました。自分のできる範囲で、経験を積みながら消防団活動を続けていきたいと思えます。

消防団に入団したのは、地区の消防団の人が自宅まで勧誘しに来てくれたのがきっかけです。当時は何をやる団体なのか分からなかったのが、断りました。翌年、また勧誘に来てくれたので、何度も断るのは失礼かと思い入団を決意。私は、24歳の頃足利市から引っ越してきたので、知り合いと呼べる人は、邑楽町にほとんどいませんでした。消防団に入団して地域の人と知り合いになり、今では入団してよかったと思います。

私の班は20代がいません。今後は、若い人にぜひ入団してほしいと思いますね。趣味以外で時間を割かれるのは、抵抗があるという人もいられるかもしれませんが、それに見合うだけのものを、消防団では得ることができると思います。私の場合、貴重な仲間と知り合えたこと。それと地域に貢献しているんだという、責任感が自然と芽生えました。



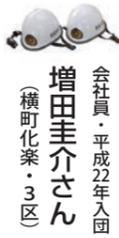
「貢献」というと重い感じですが、自分のできる範囲でいいと思います



同じ職場の消防団員の先輩に誘われて入団しました。ちょうど、その先輩と同じ地域を受け持つ班に所属することになったので、入団時あまり不安はなかったように思います。消防団では、普段生活していたら、出会えないような人とも交流を持てるので、地域とのつながりができたと、自分なりに思います。

私の勤めている会社は、交代勤務があるので、週ごとに昼の勤務と夜の勤務が交互にやってきます。夜勤のときは、ポンプ操法の訓練に参加することができません。ですが、その点は班の人たちも理解してくれているので、自分の生活に合わせて、今は消防団活動ができています。

まだ火災現場での経験が少ないので、自分のできることを考え、そして先輩にアドバイスをもらいながら、これから知識と経験を、積んでいきたいと思っています。



自分のライフスタイルに合わせて消防団活動は、できると思います



関口一弘さん
館林地区消防組合
邑楽消防団・団長

—消防団の今の課題は何でしょうか？

新入団員の確保が一番の課題です。勧誘に地区を回っても、新入団員がなかなか入団してくれないと聞いております。

地元の若者が入団しない原因に、私は第一に消防団の活動自体知らない人が多いのではないかと考えます。第二に、強固な縦社会があるとのイメージがあるのではないのでしょうか。

—新入団員確保に方策はありますか？

まずは活動内容を知ってもらう取り組みが必要です。若者に情報発信するためのツールとして、邑楽消防団独自のホームページの開設も一つの手段として考えられますね。

それと大切なのは地域の協力。区長さんをはじめとした地域の皆さんにお願いして、協力を求めていると思います。—まだ入団していない若者に、何かメッセージはありますか？

消防団では年齢や職業の違う人たちが活動しています。交流や社会勉強の場にもなると思います。知り合いが増え、必ず自分にとってプラスになるはずです。

新しい仲間との出会いや発見、そして、地域愛が生まれるのが消防団だと思っています

消防団長に聞く●邑楽消防団の若者事情



せきぐち・かずひろ●1963年生まれ。会社員。昭和63年に消防団へ入団。第2分団副分団長、同分団長を歴任し、平成20年からは副団長。今年、邑楽消防団団長に就任する。邑楽消防団総員121人の指揮を執る。渋沼在住、50歳。

仕事の悩みなど職場では話すことができないことも、相談に乗ってくれる人生の先輩たちが消防団にはいます。一生付き合える仲間とも出会えるはず。—ポンプ操法の訓練が、大きな負担になっているとの意見もありますが？

ポンプ操法競技大会へ向けての訓練は、約2か月にわたり夜の7時半から9時まで行われます。団員によっては、仕事で訓練に間に合わなかったり、参加できなかったりする場合もあると思います。仕事あつての消防団ですから、仕事はないがしろにできません。

ですが、この訓練により実際の火災現場で役に立つ技能が身に付くのです。消

防車両や機械器具の取り扱いなどの基本を、学ぶことができる重要な訓練です。その点は班の中で調整してもらるか、訓練日の調整を別の班としてもらうなどして、臨機応変に対応してほしいですね。—団長の考える消防団像は？

邑楽消防団は今以上に発展しなくてはなりません。発展するためには消防団として、未来に向けたビジョンを明確に打ち出すことが求められると思います。

これからも町民の皆さんとの絆を大切にしながら、町民の皆さん一人ひとりの生命・財産を守らせていただき、何より皆さんから「ありがとう」と言ってもらえる、消防団を目指していきたいです。

ポンプ操法競技大会に出場した橋本さん



①の「活動内容を知らない」は、得体の知れないものへの恐れと、何か大変なことをするのは不安かとの不安があるのではないのでしょうか。

②の「仕事とプライベート以外で余計な時間を使いたくない」は、確かにそう思いますが、勤務形態が交替制の会社員で、消防団活動

若者が消防団に入団しづらい原因を、私なりに考えてみました。
①そもそも活動内容を知らない
②仕事とプライベート以外で余計な時間を使いたくない
③集まりと称してのお酒を飲む回数が多い

をされている人も実際にいます。



取材を終えて●街角特派員橋本健太
若者が入団しづらいのは、実態を知らないのと先入観？

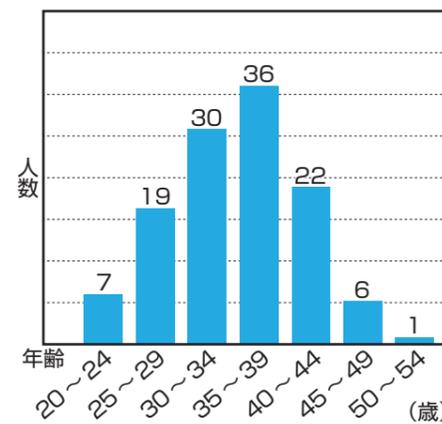
③の「集まりと称してのお酒を飲む回数が多い」は、昔はそうであったかもしれませんが、時代の流れとともに今は多くありません。飲まない人も多くいます。前ページのグラフにもあるように、邑楽消防団121人中、20代は26人。若者が入団しないと、右肩あがり年齢層が高くなっています。それでは団員が、いつになっても退団できないことになってしまいます。

活動の全てが強制ではありません。仕事やプライベートがあつての消防団ということを強調しておきます。でも、忙しいなか出勤したり行事に参加したりしている人がいるのも事実です。何より自分たちのまちは、自分たちの手で守ろうとしている皆さんなのです。

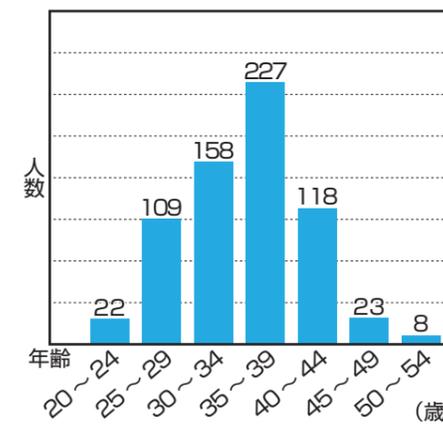
一人でも多くの若者に興味や関心を持ってもらい、入団してくれる人が多くなれば、入団者と退団者の循環が、うまくできると思います。私も改めて消防団活動を、頑張っていきたいと思っています。

最後に、取材にご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

●邑楽消防団の年齢別団員数



●館林地区消防組合消防団の年齢別団員数



【邑楽消防団の職業別団員数】

職業	団員数
会社員(町内)	14
会社員(町外)	47
自営業(家族経営含む)	25
公務員	31
団体職員	4

邑楽消防団総員121人の内、会社員は61人。団員の約半分を占め、公務員の内役場職員は30人。



邑楽南中学校3年生
小林実世さん
Miyo Kobayashi

ひいばあちゃんの笑顔、あの笑顔をも
た見たいから、私は今日も「ひいば
あちゃんお助け作戦」を実行します。

Close up★少年の主張

自身の経験も交えて「高齢者社会について」主張
私たち中学生にだって、
できることはある

第35回少年の主張県大会で、
邑楽南中学校3年の小林実世さんが、
見事優秀賞に輝きました。



護について取り上げ、「ひいばあちゃんお助け作戦」と題して、「中学生にもできることがある」ということを主張。そして、「身近なお年寄りに声をかけること、ふれあうことでもよいのです。私たち一人ひとりが、お年寄りにできることをまず実行する。これこそが、お年寄りに優しい社会を実現する第一歩になる」と述べました。

小林さんは、「まさか自分が優秀賞を受賞するとは思わなかった。家族も驚いていました」と話します。

約2か月かけて考えをまとめ、自分の主張がきちんと伝わるように、気をつけて何度も何度も推敲したそうです。

「やっぱり同じ中学生に共感してほしいです。高齢者社会になっても中学生にだってできることがあるということを知ってほしいと思います」。

ひいおばあさんとは幼い頃、お手玉やおはじきで遊んだ記憶があるという小林さん。自身の主張には、そんな優しい笑顔のひいおばあさんへの想いも込められているのではないだろうか。

少年の主張県大会 優秀賞受賞

高齢者社会について

邑楽町立邑楽南中学校三年

小林実世

私の曾祖母は、現在九十六歳です。数年前までは、庭の草をむしったり、洗濯をしたりと、元気に動いていました。しかし、ここ数年、急に体が動かなくなってきました。そこで、家の廊下に手すりをつけたり手押し車や杖を用意したりして、少しでも動けるように工夫しました。曾祖母は「ありがとね。歩くのが少し楽になったよ。」と言って喜んでいました。

しかし、曾祖母の衰えは、体力にとどまりません。誕生日や年齢を尋ねても答えられない。家族の名前が出てこない。十分ほど前に食事をしたばかりなのに、それすら忘れてしまう。そんな場面がしばしば見られるようになってきました。話す言葉もめっきり減り、一人で部屋にいることも多くなりました。

曾祖母の世話は、主に祖母がしています。食事の世話、トイレ

いや入浴の手伝いなどです。家の風呂の浴槽は深く、曾祖母の体を引き上げるには、とても力が必要です。また、曾祖母は温度に対する感覚が鈍くなったのか真夏でも部屋の窓を閉め切ってしまう。熱中症になるのではないかと、家族は気が気ではありません。

曾祖母の面倒を見ている祖母は、七十五才。公民の授業で高齢者が高齢者を介護することを「老々介護」と学びましたが、我が家はまさにその状態です。めったに弱音を吐かない祖母も、最近「疲れた。」と漏らすことが多くなりました。

そんな祖母の姿を見て、私は「自分も家族の一員。曾祖母のために、わたしにできることは何かないか。」と考え、三つのことを実行することにしました。名付けて「ひいばあちゃんお助け作戦」です。

まず一つ目は、「ひいばあちゃん」の食事の時の世話です。目がよく見えない曾祖母はお皿の上の食べ物に気がつかないことがあります。「ここにもあるよ。」と、

わたしが隣で声をかけます。おかげで大きくて食べにくい時には、小さく切り分けました。また、むせないように、汁ものを飲むように勧めました。

二つ目は「ひいばあちゃん」の部屋を快適にする「こい」です。曾祖母はどんなに暑くても、夜になると、部屋の雨戸まで閉めてしまいます。部屋の様子を見に行き、窓を開けたり、エアコンを操作したりして、温度を調整するように心がけました。

三つ目は、「ひいばあちゃん」とたくさんふれあうことです。私が読んだ介護の本にはじゃんけんや簡単な手遊びがリハビリにもなると載っていました。体操部で学んだストレッチも一緒にやってみました。じゃんけんでは私に続けて勝った時、曾祖母は久しぶりの笑顔でした。それは、昔私が一緒に遊んでもらった時に見た、とてもやさしい笑顔だったのです。

私たちは、今高齢化社会の中で生きています。日本では六十五才以上のお年寄りの割合が、総人口のおよそ四分の一を

占めています。そして、この割合はますます増えていくというのです。

お年寄りに優しい社会を作るために大切なことは、何でしょうか。ホームヘルパーや介護施設を増やすことも重要でしょう。では、「あなたたち中学生には、何ができるの。」と問いかけられたら、あなたは何と答えますか。「そんなことは大人が考えればいいよ。」「中学生に大したことはできないよ。」と答える人も多いと思います。しかし、私は「ひいばあちゃんお助け作戦」を実行してみたい。私たち中学生にもできることがある。」ということに気づきました。私のように、身近なお年寄りに声をかけること、ふれあうことでもよいのです。私たち一人ひとりが、お年寄りにできることをまず実行する。これこそが、お年寄りに優しい社会を実現する第一歩になるのではないだろうか。

ひいばあちゃんの笑顔、あの笑顔をもた見たいから、私は今日も「ひいばあちゃんお助け作戦」を実行します。

●表記などは、原文のまま掲載しています。



【特集】声の広報お届けします

「声の広報」が始まった経緯について、当時の広報担当者に話を聞いてみたところ、取材中、目の不自由な人から「広報の内容を知りたい」との要望があったそうです。そこで、考え出されたのが「声の広報」(当時は「音の広報紙」と呼ばれていました)だったのです。目の不自由な人にも、ぜひ言葉の出来事や情報を知ってもらいたいという願いから、平成5年4月から「音の広報紙」という名称でスタートしました。

毎月発行される「広報おうら」を、カセットテープに録音して目の不自由な人に無料でお届けしていただきました。その後、平成7年から音声訳ボランティア「すみれの会」も新たに加わり、「声の広報」という名称で現在まで続いています。「声の広報」を利用されている人は町内で4人。それと町社会福祉協議会にもカセットテープは送られています。今年で20年を迎える「声の広報」。声を吹き込んでいただいているボランティアの皆さんの力が、必要不可欠だということは言うまでもありません。そこで、今回の特集では、「声の広報」を裏で支える三つのボランティアグループの皆さんにスポットを当て、関係者の皆さんのインタビューも交えながら、お届けします。



虹の会



やらび



音声訳ボランティア すみれの会

私たちが「声の広報」を録音しています

毎月交代で三つのボランティア団体が録音

「声の広報」は、町の広報誌などを音声訳して、カセットテープに録音し、毎月、目の不自由な人に届けられます。音声訳(略して「音訳」ともいいます)とは、目の不自由な人のために、文字を音声に訳すことをいいます。



あなたは「声の広報」を知っていますか？

特集

毎月一回のまごころ定期便

声の広報お届けします

Public Relations of Voice

毎月発行される広報おうらは、「声の広報」として一本のカセットテープに録音されます。「声の広報」が始まって、今年でもう20年。この一本のアナログなテープに、どんな人たちが声を吹き込み、そして、そのテープは誰に向けて届けられているのか…。

▶「声の広報」**無料**「広報おうら」をカセットテープに録音してお届けしています



町では、音声訳ボランティアの皆さんのご協力により、目の不自由な皆さんに、「声の広報」を無料でお届けしています。

▶対象 町内在住で目が不自由な人
※障害者手帳の等級などは、関係

ありません。視力の低下で広報誌が読みづらい人もご利用になれます。

▶費用 無料
▶申込・問合せ 役場企画課 ☎ 47-5007
町社会福祉協議会 ☎ 88-2408

■音声訳ボランティアについてのお問い合わせも、役場企画課までお願いします。



重要なのは聴きやすく
分かりやすいかどうか

やらびの代表を務める山形房江さんは、「読み上げるうえで、一番重要なのは聴きやすく、かつ分かりやすいかどうかです。写真と文章を見て分かる記事内容ですと、読み上げてみると、実は分かりにくいものも多くあります」。

「例えば『下表の通り』などの表現は、目の不自由な人にとって

重要なのは聴きやすく 分かりやすいかどうか

やらびは、今から約30年前に結成されました。

幼いお子さんを持つお母さんたちが集まって、ボランティアで読み聞かせを始めたことが結成の直接のきっかけだったといえます。

当時は町立図書館がなく、邑楽町公民館の図書室で読み聞かせをしていました。昭和58年頃には、メンバーの皆さんが移動図書館「はくちょう号」に乗って、主に高島地区の各公民館を回り、土曜日の午後から地区の子どもたちに読み聞かせをしていました。

そんな折、当時の広報担当者から目の不自由な人向けに「声の広報」をやらせないかとの働きかけがあり、音声訳のボランティアが始まったのです。

出発は読み聞かせ ボランティアから

やらびは、今から約30年前に結成されました。



やらび
代表 山形房江さん
(石打・20区)

は、分かりづらい代表例です。そこで、読み方の順番を変えたり説明を加えたりして、読み方の工夫をしています」と、録音するときの注意点を語ってくれました。

記事を読み上げるとき、特に注意が必要なのは日付・時間・場所が掲載されている情報。誤読のないように細心の注意を払って録音に臨むそうです。

目の不自由な皆さんの 役に立ちたい思い

体調を崩されたときでも車いすで録音に臨んだという山形さん。「長く続けてこられたのは、私たちの音声訳でも少しは目の不自由な皆さんの役に立っているという、やりがいと喜びがあるからです。それとメンバーのみんなが、いい人たちばかりだから、私も頑張れるのだと思います」。

「私たちの音声訳が役に立っているのであれば、これからも続けていきたいです。まちへ恩返ししているという気持ちで取り組みたいですね」と語ります。

朗読ボランティア経験のある メンバーが今も音声訳を手掛ける

やらび

●かつて「はくちょう号」に乗って読み聞かせをしていたお母さんたちが、音声訳のボランティアを長い間続けています。

とても小さな力ですが、 目の不自由な人の役に立ち たいという思いがあります



やらびの皆さん●「やらび」は、沖縄の方言で「董（わらべ）」という意味です。かつて、読み聞かせボランティアをしていた沖縄県出身のメンバーの一人が、命名したそうです



虹の会

子育てサークルから朗読ボランティア そして、音声訳ボランティアへ

●子育てサークルのお母さんたちで結成された虹の会。
その後、音声訳のボランティアを行っています。



虹の会の皆さん●虹の色は、一般的に7色。7人から始まったボランティアなので、虹の会と命名されたそうです

聴く人の「気持ち」を大切に 温かみのある声を届けたいです

誌面の雰囲気伝える

虹の会は昭和61年に結成されました。会の前身は、子育てサークル「小枝の会」。町主催の二歳児の子育て教室で知り合ったお母さんたちと、ボランティアで読み聞かせをしていました。当時の広報担当者から目の不自由な人向けに「声の広報」をやらせないかとの働きかけがあり、今に至るそうです。

虹の会代表の平林敬子さんは、「平成5年から広報誌の録音を手掛けるようになりました。大切な



虹の会
代表 平林敬子さん
(現・安中市在住)

のは、聴いてくれる人に誌面の雰囲気伝えること。どうしたら活気のある誌面を声だけで伝えるか大変難しいことです」。

「最近、広報おうらは写真が多くなりました。ですから、文章をそのまま読んだだけでは伝わらない場合の説明なども必要になってきますね」と語ります。

大切なのは「気持ち」

「アナウンサーのようにはいきませんが、その人の個性のある音声訳も、おもしろいと思います。専門家からみれば、単語のアクセントやイントネーションが多少違う部分もありますが、そこは、その人なりの味として、聴く人にとって温かみのある音声訳を心掛けています」と平林さん。

結成当時のメンバーの一人淡嶋房永さんは、「広報誌をみんなで見ると、たまに意見を交わすこともあります。身近な情報誌として広報おうらは貴重です。読んでいて邑楽町の楽しさが伝わってくる読みごたえのある誌面構成だと



結成当時のメンバー
虹の会 淡嶋房永さん
(鶏新田・14区)

思います。その雰囲気そのままに、聴いている人にもぜひ楽しんでほしいですね。録音する方も楽しみなが、音声訳に臨みたいです」と語ります。

平林さんは、お母様の介護のため来年の3月で代表を退かるといいます。ですが、可能な限りはお手伝いをするとのこと。来年の4月からは、新代表に淡嶋さんが就かれるということ、取材のときに知りました。

「頼りになる平林さんがいないプレッシャーはありますが、メンバーが入れ替わっても、楽しさの伝わる音声訳を、これからも心掛けていきたいです」と淡嶋さん。

虹の会では、その人のレベルに合わせてページの割り当てなどを決めるそうです。機械的にノルマをつくらず、その人の負担にもつながら、読んでいてもおもしろくなく、ひいては聴いてくれる人に誌面の楽しさが伝わらないからだと、何より、音声訳に臨むときの「気持ち」を大切にしているグループです。





点字一覧表を見ながら、一点ずつ穴を打っていきます

インタビュー●「声の広報」に貼ってある点字テープを作る人
間違えないように、集中して点字を打っています

私が点字を始めたのは、8年前に友人に誘われて町社会福祉協議会主催の点字講習会に参加したのがきっかけです。毎月、「声の広報」のカセットテープに貼る点字テープを作っています。

点字一覧表を見ながら、携帯用点字器を使用して、フィルムに穴を打っていきます。点字は、縦3点×横2点の6点の各点の組み合わせによってできる63種類を基本に字が形成されています。

携帯用点字器



点訳ボランティア「てんでん虫」篠崎効子さん(寺中・26区)

●「声の広報」を利用している人に話を聞きました
町のことを知るのに必要です
でも、不便なこともあります…

「目の見えないことを、ハンディと思つたことは一度もありません。常に自分のできることを考えて工夫しながら、前向きに生きてきました。学生時代はフォークソングやブルースバンド、そしてバンド活動など、常に音楽と一緒の生活をしていました」と戸ヶ崎さんは語ります。

「『声の広報』で邑楽町のことが分かるので、とても貴重でおもしろいですね」。

「ただ、カセットテープだと、もう一度自分の知りたい情報に巻き戻すのに、手間が相当かかります。しかも全て記憶しておかないと、どこに何の記事があったか、巻き戻すのにも一苦労です。時間をなくしたいので、自分の知りたい情報をすぐに聴きたいのにもかわからず、逆に時間がかかってしまう不

「『声の広報』で邑楽町のことが分かるので、とても貴重でおもしろいですね」。

「ただ、カセットテープだと、もう一度自分の知りたい情報に巻き戻すのに、手間が相当かかります。しかも全て記憶しておかないと、どこに何の記事があったか、巻き戻すのにも一苦労です。時間をなくしたいので、自分の知りたい情報をすぐに聴きたいのにもかわからず、逆に時間がかかってしまう不



「声の広報」を利用している 戸ヶ崎澄男さん(前谷東原・2区)

戸ヶ崎さんは1958年生まれ。先天性の目の病気で、小学5年生から前橋市の県立盲学校へ。小・中学課程、高校の普通課程も終え、専攻科の理療科でマッサージや鍼灸の勉強をしました。現在、鍼灸マッサージ院を経営する傍ら、音楽スタジオも経営。パソコンで作曲や曲のアレンジなども手掛け、地区のカラオケ教室の講師も務めるなど、エネルギッシュな55歳です。

「現在、視覚障害者の間で広まっている、プレクストーク(PLEX TALK)というデジタル録音図書関連機器があります。デイジー(DAISY)と呼ばれる形式でCD一枚に図書内容が全て収まります。利点は、ページごとに音声訳を呼び出せること。さらに、目次も設定でき、目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶこともできるのです。とても便利で、私も現在利用している一人です」と、最新機器を利用する一方でアナログなカセットテープを使い分けなくてはならない戸ヶ崎さん。

「『声の広報』で邑楽町のことが分かるので、とても貴重でおもしろいですね」。

「ただ、カセットテープだと、もう一度自分の知りたい情報に巻き戻すのに、手間が相当かかります。しかも全て記憶しておかないと、どこに何の記事があったか、巻き戻すのにも一苦労です。時間をなくしたいので、自分の知りたい情報をすぐに聴きたいのにもかわからず、逆に時間がかかってしまう不



音声訳ボランティア すみれの会の皆さん
●会の名称は、町社会福祉協議会主催の朗読ボランティア養成講座で講師を務めていた金子純子(かねこ・すみこ)さんの「すみ」の字をとり、「すみれの会」と命名されました

聴く人の耳に
ごく自然に入って
心に響く音声訳を
目指したいです

音声訳ボランティアすみれの会は、平成5年に町社会福祉協議会主催の朗読ボランティア養成講座の受講生を中心に結成されました。当時、県の点字図書館でボランティアをしていた金子純子さんを講師に迎え、邑楽町で講座が開催されました。その純子さんの「すみ」をとり、すみれの会と命名されました。

「『声の広報』で邑楽町のことが分かるので、とても貴重でおもしろいですね」。

「ただ、カセットテープだと、もう一度自分の知りたい情報に巻き戻すのに、手間が相当かかります。しかも全て記憶しておかないと、どこに何の記事があったか、巻き戻すのにも一苦労です。時間をなくしたいので、自分の知りたい情報をすぐに聴きたいのにもかわからず、逆に時間がかかってしまう不

「『声の広報』で邑楽町のことが分かるので、とても貴重でおもしろいですね」。

「ただ、カセットテープだと、もう一度自分の知りたい情報に巻き戻すのに、手間が相当かかります。しかも全て記憶しておかないと、どこに何の記事があったか、巻き戻すのにも一苦労です。時間をなくしたいので、自分の知りたい情報をすぐに聴きたいのにもかわからず、逆に時間がかかってしまう不

基本に忠実に、聴きやすさを目指して
音声訳ボランティア
すみれの会

●「広報おうら」と町社会福祉協議会発行の「私たちの福祉」の音声訳を、手掛ける音声訳グループ。聴き手に配慮した音声訳を心掛け、「聴きやすさ」の追求を続けています。



音声訳ボランティア すみれの会
代表 小倉容子さん(新中野・33区)

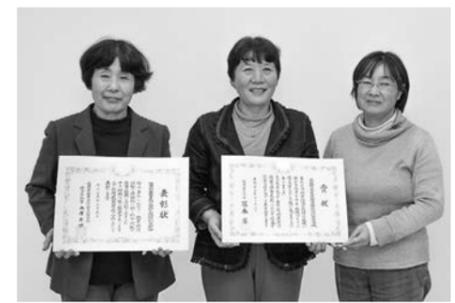
「金子さんは、音声訳ボランティアは、あくまで黒字。書き手と聴き手の仲介をする仕事と、よくおっしゃっていました」と、すみれの会代表の小倉容子さんは、当時は振り返ります。

「『声の広報』で邑楽町のことが分かるので、とても貴重でおもしろいですね」。

「ただ、カセットテープだと、もう一度自分の知りたい情報に巻き戻すのに、手間が相当かかります。しかも全て記憶しておかないと、どこに何の記事があったか、巻き戻すのにも一苦労です。時間をなくしたいので、自分の知りたい情報をすぐに聴きたいのにもかわからず、逆に時間がかかってしまう不

表彰

県知事表彰と関東農政局長賞をダブル受賞
地産地消優良活動団体として表彰



あいあいセンターの皆さん
【写真左から】 種類部長・矢島美恵子さん、直売部兼組合長・橋本恵美子さん、加工部長・清水ちえみさん

あいあいセンターが、県知事表彰と関東農政局長賞をダブル受賞しました。これは地産地消優良活動団体として、表彰を受けたものです。今回、伝統食を生かした商品開発、地域密着のサービスなどが評価されました。橋本組合長は、「今回の受賞は組合員みんなの力と、出荷してくださる皆さんの支えのおかげです。本当にありがとうございます。これからも地域のニーズに合った地産地消を、進めていきたいです」と話してくれました。

見舞金

申請がお済みでない人はお早めに
地震災害見舞金の支給が終了します

東北地方太平洋沖地震災害見舞金の支給が、平成26年3月31日までの申請分で受付終了となります。
▼対象(次の条件すべてに該当する人)
①平成23年3月11日時点で邑楽町に住民登録があった
②平成23年3月11日に発生した地震が原因で、①に該当する人が町内に所有する家屋または塀に被害を受けた
③②の修理費が合計10万円以上
▼見舞金額 1世帯2万円(1回限り)
▼必要書類 申請書、領収書、通帳



※申請書は役場総務課にあります。
▼申込方法 役場総務課の窓口に必要な書類を持参して直接申し込む
▼申込・問合せ 役場総務課 47-5004

募集

あなたのチカラを待っています
役場の臨時職員を募集します

▼募集職種 一般事務補助、幼稚園教諭、保育士、保育園調理員、児童館厚生員、図書館員、給食センター調理員、学校用務員、学校図書、学校指導助手、支援員、相談員、保健師、社会教育指導員など
※職種により免許・資格などが必要。
▼人数 各職種とも若干名
▼雇用期間 平成26年4月1日～6か月間(6か月延長の場合あり)
▼選考方法 書類審査、面接など
▼応募方法 履歴書(市販のもの)提出
▼受付期間 12月16日(月)～26日(木)



※土・日曜日、祝日は除きます。
▼受付時間(役場開庁時間に限り) 午前8時30分～午後5時15分
▼申込・問合せ 役場総務課 47-5006

収集

1月1日～5日は、ごみの収集はありません
年末年始のごみ収集のお知らせ

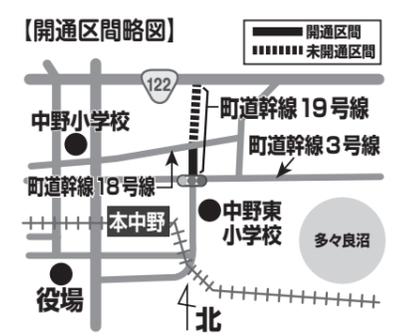
Table with 2 columns: 種別 (燃えるごみ, 資源ごみ, 燃えないごみ) and 収集日 (12月30日, 1月6日, 12月31日, 1月7日, 12月23日, 1月10日)

※収集時間が通常と変わることがあります。午前8時30分までに出してください。
▼清掃センターのごみ搬入 12月30日(日)まで
▼年末の搬入 午前9時～11時30分、午後1時～4時
※12月30日は、午後3時までです。
▼新年の搬入 平成26年1月6日(日)から
午前9時～11時30分、午後1時～4時
▼問合せ 役場生活環境課 47-5018
清掃センター 63-1266

開通

町道幹線3号線～18号線区間の開通
町道幹線19号線が一部開通しました

平成25年11月1日から「町道幹線3号線～町道幹線18号線」の区間が一部開通となりました。開通区間は、下記略図の通りです。以前とは周辺道路環境が変わりますので、通行には十分ご注意ください。なお、全線開通までの間、大型車両の通行はできません。あらかじめご了承ください。
▼問合せ 役場都市建設課 47-5030



※今回の開通区間は、生協駐車場から中央保育園北の道路までです。

協働

協働のまちづくり活動補助金制度
審査の結果、4団体に交付決定

町では「協働のまちづくり活動補助金制度」を開始し、7月1日～8月21日に受け付けしました。今回、4団体から応募があり、審査会の審査の結果、下記のとおり交付決定しました。
▼協働のまちづくり活動補助金制度
地域連携意識の高揚と魅力あるまちづくりの推進を目指し、多様な発想と工夫により地域の活性化に取り組み団体を支援する制度。
▼問合せ 役場企画課 47-5009



Table with 3 columns: 事業名, 団体名, 事業の概要. Lists 4 projects: 1. 諏訪原地域の生活環境整備推進活動 (16団体), 2. 緑寿(66歳)の長寿を祝い、その熟年力を生かす支援活動 (邑楽町熟年力を活かす会), 3. 子供塾と高齢者支援センター設置事業 (33区新中野自治会), 4. 英会話、講演会を通じた子育て支援活動 (群馬おうらプロバス・クラブ)

募集

応募者全員に参加賞が出ます
多々良沼の白鳥絵画作品を募集

▼対象 町内在住の小・中学生
▼募集条件 クレヨンや絵の具などで、多々良沼に飛来している白鳥を画用紙(縦38cm×横54cm以内)に描く
※作品の裏面に学校名・学年・組・名前を書いて、提出してください。
▼申込方法 各小・中学校、または役場産業振興課に直接提出する
※優秀賞は作品を写真撮影して、額に入れ記念品として進呈します。
▼申込締切 平成26年1月14日(木)



【2013年最優秀作品】
邑楽南中学校2年 渡邊恋さんの作品

お休み

シンボルタワー、福祉センター、あいあいセンター
年末年始の休館日と休業日

施設の休館日・休業日
シンボルタワー「未来MiRAI」 [休館日] 12月29日(日)～平成26年1月3日(金) ※1月1日(水)は午前6時から正午まで臨時開館します。
福祉センター寿荘 [休館日] 12月29日(日)～平成26年1月3日(金)
あいあいセンター [休業日] 平成26年1月1日(水)・4日(土)・5日(日) ※12月30日(月)臨時営業、1月8日(水)から通常営業。

※社会教育施設の休館日については、24ページをご覧ください。

年金・税金

年金受給者の住所変更



▼**手続方法** 「年金受給権者住所変更届」を年金事務所へ提出
 ※申請書は、はがき様式なので50円切手を貼って郵送可能です。
 ※申請しないと、年金振込通知書などの書類が変更後の住所に届きません。
 ▼**申請書の配布場所**
 太田年金事務所、役場保険年金課
 ▼**問合せ** 太田年金事務所
 ☎49-3716

65歳になると手続が必要です

特別支給の老齢厚生年金は65歳で受給権が消滅します。その後、新たに老齢基礎年金と老齢厚生年金を受け取るようになります。
 ▼**必要書類** 「国民年金・厚生年金保険老齢給付裁定請求書(はがき様式)」※65歳になる誕生月の初め頃(1日生まれの人は前月の初め頃)に日本年金機構から送られます。
 ▼**手続方法** 誕生月の末日(1日生まれの人は前月の末日)までに、裁定請求書を日本年金機構へ提出する
 ▼**手続きが完了すると**
 「国民年金・厚生年金保険裁定通知書・支給額変更通知書」が送られる
 ▼**問合せ** 太田年金事務所
 ☎49-3716

家屋の滅失手続を忘れずに

家屋の固定資産税・都市計画税は、毎年1月1日に現存するものに課税されます。
 年の途中で家屋を取り壊したら、1月1日までに役場税務課で滅失手続をしてください。手続が遅れると、翌年度以降も課税になる場合があります。
 ▼**問合せ** 役場税務課 ☎47-5012

今月の納税



▼**納期限**
 町県民税(4期) 12月25日④
 国民健康保険税(6期) 12月25日④
 介護保険料(6期) 12月25日④
 後期高齢者医療保険料(6期) 12月25日④

募集

館林税務署の臨時職員を募集

▼**募集人数** 80人程度
 ▼**勤務日** 平成26年1月下旬～3月中旬または下旬の月～金曜日
 ▼**勤務時間** 午前9時～午後5時(昼休みを除く5時間30分)
 ▼**勤務内容** 受付、パソコン入力作業、書類整理など
 ▼**勤務場所** 館林税務署またはイオンモール太田
 ▼**申込・問合せ先**
 館林税務署総務課 ☎72-9500



石打町営住宅の入居者募集

町では平成25年度末完成予定の石打町営住宅団地B棟(第2期)の入居者を募集します。
 ▼**募集期間**(応募者多数の場合抽選)
 12月16日④～平成26年1月31日④
 ▼**入居資格**(収入制限あり)
 ①町内在住か在勤で、親族と同居する予定の住宅に困窮している人
 ②町内在住か在勤で、単身の高齢者・障害のある人で、住宅に困窮している人
 ③①か②に該当し、その他の入居資格をすべて満たすこと
 ※その他の入居資格については役場都



石打町営住宅(完成予想図)
 住所・石打1171-1
 構造・鉄筋コンクリート
 3階建て

県営住宅の入居者募集

市建設課にお問い合わせください。
 ▼**募集住宅** 1K・1DK(1人以上)・2DK(2人以上)・3DK(3人以上)
 ※募集戸数・家賃などは募集案内参照。
 ▼**入居可能日** 3月下旬以降
 ▼**募集案内配布場所** 役場都市建設課
 ▼**申込・問合せ先** 役場都市建設課 ☎47-5031

ふれあい保育		
1月の予定【午前10時～正午】	7日火	開放日
※予定が変更になることがあります。	8日水・9日木	★絵馬作り
	10日金・14日火	開放日
	15日水・16日木	★ペープサートシアター ★マジックシアター
	17日金・21日火	開放日
	22日水	★もちつき
	23日木	★和太鼓・獅子舞見学
	24日金・28日火	開放日
	29日水・30日木	★誕生会・節分製作
	31日金	開放日

☆子育てに関する電話相談、来園相談も受け付けています。
 【火・金曜日】0歳～就学前の子どもと保護者 【水曜日】2歳以上の子どもと保護者
 【木曜日】0歳～1歳の子どもの保護者
 ▶**問合せ先** 子育て支援センター(中央保育園内) ☎88-0230

子育て支援室

風の子保育園の子育て支援室に遊びに来ませんか。
 楽しい遊びと仲間たちに出会えますよ。

▶**活動日・対象**
 月曜日 自由開放日(年齢を問わず自由にご利用できます)
 火曜日 1歳児(平成23年4月2日～平成24年4月1日)
 水曜日 0歳児(平成24年4月2日～後期)
 木曜日 0歳児(生後3か月～前期)・妊婦さん
 金曜日 2歳児(平成22年4月2日～平成23年4月1日)
 ▶**時間・内容** 午前9時30分～11時30分・親子活動など
 午前11時30分～午後0時30分・ランチ(自由参加)
 午後0時30分～2時30分・子育て相談
 ▶**申込・問合せ先**
 社会福祉法人こころみの会風の子保育園子育て支援室
 ☎88-7655(午前9時～午後2時まで)

定例相談

法律相談(要予約・定員10人)
 12月21日(土)・相澤弁護士
 平成26年1月18日(土)・中村弁護士
 午後1時30分～4時・邑楽町役場
 役場住民課 ☎47-5017
 人権・行政相談(電話予約も可)
 ※12月4日～10日は「人権週間」です。
 12月5日(木)・午前10時～午後3時
 平成26年1月9日(木)・午後1時30分～4時
 邑楽町公民館
 岩崎・堀越・関根・細谷相談員
 役場住民課 ☎47-5017
 交通事故相談
 月～金曜日(祝日を除く)
 午前9時～午後4時
 県交通事故相談所
 ☎027-243-2511
 年金相談
 12月19日(木)・午前9時30分～午後3時
 館林市役所 ☎72-4111
 子育てこころの相談(要予約)
 12月18日(水)・平成26年1月8日(木)
 午前9時～正午
 館林保健福祉事務所 ☎72-3230
 精神保健福祉相談(要予約)
 12月18日(水)・平成26年1月8日(木)
 午後3時～5時
 館林保健福祉事務所 ☎72-3230
 エイズ相談【HIV抗体検査】(要予約)
 相談・検査日は毎週火曜日(祝日除く)
 午前9時～10時
 ※対象は、感染の機会があったと思われる時期から3か月経過している人です。
 ※費用は無料です。
 館林保健福祉事務所 ☎72-3230

消費生活センターからのお知らせ

平成25年4月～9月上半期相談状況
 平成25年度上半期の相談件数は131件。依然として高齢者被害の相談が多く見られ、多重債務や生命保険契約の相談も目立ちました。また、パソコンやスマートフォンを利用し、高額請求を受けたとの相談も多数ありました。最近では、太陽光発電やリフォームなど住宅関係の相談も増加傾向にあります。
 ▶**問合せ先** 消費生活センター(役場産業振興課内) ☎47-5047



↑出前講座も行っています

相談内容	件数	相談内容	件数
金融・保険サービス	23	教養・娯楽品	11
運輸・通信サービス	19	保健・福祉・家事・ 外食・保健衛生	10
他の相談	19	その他行政サービス	5
土地・建物・ 設備・住居品	14	商品一般	4
教養・娯楽サービス	12	車両・乗り物	3
食品・光熱水品・被服品	11		

相談件数 131件

春の優良ドライバー表彰の申請

▼**対象** 大泉交通安全協会会員で左表の期間無事故無違反であった人
 ※募集戸数・家賃などは募集案内やホームページ参照。
 ▼**募集案内配布場所** 県住宅供給公社、県土木事務所、役場都市建設課
 ▼**入居可能日** 平成26年4月1日④
 ▼**申込・問合せ先** 県住宅供給公社 ☎027-223-5811

表彰種別	無事故無違反期間
旭日金冠章	40年以上
金冠金章	30年以上
金冠銀章	20年以上
金章	15年以上
銀章	10年以上
銅章	5年以上

陸上自衛隊高等工科学校生募集

▼**応募資格** 日本国籍を有し15歳以上17歳未満(平成26年4月1日現在)の男子で、中学校卒業者または中等教育学校の前期課程修了者(見込みを含む)
 ▼**受付締切** 平成26年1月10日④
 ▼**試験日** 平成26年1月18日④
 ▼**試験会場** 前橋市民文化会館
 ▼**問合せ先** 自衛隊群馬地方協力本部
 太田出張所 ☎45-5563

介護職員養成講座

▼**講習期間**(実21日間)
 平成26年1月10日④～3月20日④
 月・水・金曜日に講義、演習、実習
 ▼**時間** 午前9時～午後5時
 ▼**会場** NPO法人お互いさまネットワーク(館林市北成島町)
 ▼**定員** 20人(先着順)
 ▼**受講料** 8万円
 ※テキスト代は別途5,900円です。
 ▼**申込方法** 郵送または、ファクスで申し込む
 ▼**申込期間** 12月10日④～20日④
 ▼**申込・問合せ先**
 NPO法人お互いさまネットワーク
 ☎70-1326、FAX70-1327

館林高等看護学院の学生募集

▼**募集人数** 40人(修業年限3年)
 ▼**応募資格** ①か②に該当する人
 ①高等学校卒業(見込みも含む)
 ②高等学校卒業程度認定試験合格者
 ※入学願書などは、同看護学院で配布。
 ▼**試験期日**

募集案内・イベント情報

★町労使教育委員会主催 ズーラシア&中華街& 環境学習ツアー

- ▶期日 平成26年2月22日(土)
- ▶集合出発時間 午前7時15分
- ▶集合場所 保健センター東駐車場
- ▶対象 町内在住・在勤者とその家族でツアーに協力できる人

※未成年者は、保護者の同伴が必要です。

- ▶定員 40人(応募者多数の場合抽選)
- ▶参加費 (バス・昼食・保険代、入園料など) 中学生以上5,000円、小学生3,000円、未就学児(3~6歳)2,500円、3歳未満1,000円
- ▶内容 よこはま動物園ズーラシア、横浜中華街招福門で飲茶バイキング・散策、東京ガス環境エネルギー館にて環境について学習

▶申込方法 申込用紙に必要事項を書いて直接申し込む(申込書は町ホームページ・役場産業振興課にあります)

- ▶申込締切 12月26日(木)
- ▶申込・問合せ 町労使教育委員会事務局(役場産業振興課) ☎47-5026

★県母子会主催 親子スキー教室(水上宝台樹スキー場)

- ▶期日 平成26年2月2日(日)
- ▶対象 県内在住の母子・父子家庭の母や父とその子ども(高校生以下)、寡婦
- ▶定員 100人(応募者多数の場合抽選)
- ▶参加費 母(父)3,000円、子ども2,000円、3歳未満の乳幼児500円

▶乗車地 館林市役所、太田バスターミナルなど(邑楽町に近い乗車地)

▶申込方法 往復はがきに住所、電話番号、参加者全員の名前、年齢、希望乗車地、「親子スキー教室参加希望」と書いて郵送する

- ▶申込締切 平成26年1月10日(金)(必着)
- ▶申込・問合せ 勸県母子寡婦福祉協議会(〒371-0843 前橋市新前橋町13-12 県社会福祉総合センター内5階) ☎027-255-6636

★館林地区消防組合主催 新春恒例の消防隊出初式を開催

- ▶期日 平成26年1月11日(土)
- ▶時間 午前10時~
- ▶会場 館林市役所東広場
- ▶問合せ 館林地区消防組合消防本部 ☎72-3171

★上州邑楽七福神を愛する会主催 上州邑楽七福神巡り

- ▶期日 平成26年1月4日(土)・11日(日)
- ▶出発時間 午前9時(雨天決行)
- ▶出発時間 シンボルタワー駐車場
- ▶内容 七福神を中心とした道中の自然と文



化財を巡るスタンプラリー(距離23km)

- ▶持ち物 弁当、飲み物、雨具など
- ▶参加費 100円(保険代)
- ▶申込方法 当日、会場で申し込む
- ▶問合せ 邑楽町公民館 ☎88-1290

【特別企画・七福神巡りバスの旅】

- ▶期日 平成26年1月11日(土)
- ▶集合時間 午前9時(雨天決行)
- ▶対象 65歳以上で、七福神を巡りたいが体力的に難しい人
- ▶持ち物 弁当、飲み物、雨具など
- ▶参加費 200円(バス代・保険代)
- ▶定員 30人(先着順)
- ▶申込方法 電話で申し込む
- ▶申込期間 12月17日(火)~20日(金)
- ▶申込・問合せ 邑楽町公民館 ☎88-1290

★JA邑楽館林青年部主催 婚活「農家の真面目な花嫁探し」

- ▶期日 平成26年1月26日(日)
- ▶時間 午前10時30分~午後6時(予定)
- ▶会場 JA邑楽館林本所(館林市赤生田町)
- ▶対象 30~40歳代前半の独身女性
- ▶内容 1対1トークタイム、農家訪問、フリートークタイム、カップリング発表など
- ▶定員 10人(応募者多数の場合先着順)
- ▶参加費 1,000円
- ▶申込締切 平成26年1月10日(金)
- ▶URL <http://konshin.info/>
- ▶申込・問合せ JA邑楽館林園芸指導課 ☎73-4991、☎73-7140

TOWN INFORMATION

ORA

情報広場

家族介護教室を開催します

- ▶期日 平成26年1月23日(土)
- ▶時間 午後2時~3時30分
- ▶会場 保健センター
- ▶対象 介護している人、介護に興味のある人など
- ▶内容 「笑い」に「ヨガの呼吸法」を取り入れた健康体操
- ▶定員 30人(先着順)
- ▶申込方法 電話で申し込む
- ▶申込・問合せ 町地域包括支援センター ☎80-9300

お知らせ

工業統計調査にご協力を!

製造業を営む事業所を対象にした「工業統計調査」が12月31日を基準日として、全国一斉に行われます。

▼調査目的 行政施策の基礎資料、企業・学校などの研究資料や教材に利用

▼調査内容 従業者数・原材料費・製造品出荷額など

※県知事から委嘱された調査員が皆さんの事業所を訪問します。

▼問合せ 役場企画課 ☎47-5010

▼農業委員選挙人名簿の記載申請 町選挙管理委員会では、農業委員会委員選挙人名簿の記載申請書、対象者へ12月下旬(予定)に郵送します。

▼対象者(次のすべてに該当する人)

納入参加資格申請の受付

町では平成26年度の学校給食用物資の納入参加資格申請を受け付けます。

▼申請書配布 平成26年1月15日(金)~

▼受付期間(土・日曜日を除く) 平成26年1月15日(金)~24日(金)

▼受付時間 午前9時~午後4時

▼必要書類 ①所定の申請書、②営業許可書の写し(食品衛生法第21条に該当する人)、③納税証明書(写し可)、④食品衛生監視票の写し(最新のもの)、⑤検便検査の結果成績表(最新のもの・写し可)、⑥その他に提出指しを受けた書類

※申請には町への入札参加資格申請または小規模契約登録が必要です。

▼申請・問合せ 町立学校給食センター ☎88-0678

12月・1月の健康カレンダー

保健センター ☎88-5533

月日	種目	受付時間	場所	対象
12/16(月)	健康相談	午前10:00~11:30	保健センター	
27(金)	離乳食相談(後期)	午前9:30~10:00	保健センター	生後8か月~1歳までの乳幼児
27(金)	3歳児健診	午後1:00~1:15	保健センター	H22年11月生まれの幼児
1/7(火)	4か月児健診	午後1:00~1:15	保健センター	H25年9月生まれの乳児
8(水)	2歳児歯科健診	午後1:00~1:15	保健センター	H23年12月生まれの幼児
9(木)	8か月児健診	午後1:00~1:15	保健センター	H25年4月生まれの乳児
10(金)	離乳食相談(前期)	午前9:30~10:00	保健センター	生後4か月~7か月までの乳児
10(金)	1歳6か月児健診	午後1:00~1:15	保健センター	H24年6月生まれの幼児
15(水)	BCG	午後0:45~1:00	保健センター	H25年7月生まれの乳児

犬の飼い主さんへお願い 生活環境課 ☎47-5019

■犬のフンに関する苦情が町に多く寄せられています。犬のフンの回収は、飼い主にとって当然のマナー。犬の散歩時には、ビニール袋を持ち、フンは必ず持ち帰ってください。

■公園・道路などの公共の場所や、他人の土地・建物などを犬のフンなどで汚すことは、町の条例で禁止されています。違反した場合、罰せられることがあります。

ルールを守ってワン!



人口の動き

世帯数	9,713世帯 (+6)
男	13,849人 (-2)
女	13,556人 (+3)
計	27,405人 (+1)
内外国人	383人 (-5)

※11月1日現在(前月比)

火災と救急

火災発件数	0件(9)
交通事故出動	10件(106)
急病出動	44件(463)
その他の出動	20件(166)
救急出動合計	74件(735)

※10月分(1月からの累計)

1月の休日当番医

◇診療時間 内科・外科/午前9時~午後5時 耳鼻科/午前9時~午後1時 歯科/午前9時~正午、午後1時~3時
◇救急病院の問合せ 救急テレホン ☎73-5699 ※必ず電話してから受診してください。

	邑楽郡 (内科系)	館林市 (内科系)	外科系	耳鼻科
1日(水)	寺内医院 赤堀 ☎88-1511	安楽岡医院 堀工町 ☎72-0572	最上胃腸科 館林市朝日町 ☎74-3763	
2日(木)	黛泌尿器科 大泉町坂田 ☎63-7800	横田胃腸科 細内町 ☎72-4970	慶友整形外科 館林市羽附町 ☎72-6000	
3日(金)	田沼内科医院 中野 ☎88-7522	竹越医院 明和町新里 ☎84-3137	館林医院 館林市西本町 ☎74-2112	
5日(日)	おぎわらクリニック(小児科のみ) 大泉町坂田 ☎61-1133	須田内科医院 大泉町石仏 ☎63-1414	慶友整形外科 館林市羽附町 ☎72-6000	川村耳鼻 館林市新宿 ☎72-1337
12日(日)	阿部医院 大泉町吉田 ☎62-5428	たなか医院 大泉町住吉 ☎62-2881	海宝病院 館林市堀工町 ☎74-0811	
13日(月)	金丸内科医院 狸塚 ☎88-3200	蜂谷病院 大泉町朝日 ☎63-0888	岡田整形外科 館林市朝日町 ☎72-3163	
19日(日)	小西医院 千代田町赤岩 ☎86-2261	福田ペイン 明和町大佐貫 ☎84-1233	新橋病院 館林市下三林町 ☎75-3011	今村クリニック 篠塚 ☎70-2221
26日(日)	小林内科医院 篠塚 ☎88-8278	富士クリニック 大泉町富士 ☎20-1971	川島脳外科 館林市岡野町 ☎75-5511	

歯科	群馬県保険医協会 12月の健康テレホンサービス(☎027-234-4970)▶電話をすると3分間の健康講話が聞けます	月曜 心と脳の健康診断を	木曜 子どもの食物アレルギー
歯科保健医療センター 館林市苗木町 ☎73-8818	直接相談タイム(医師が相談や質問にお答えします) ▶期日 12月19日(木)(歯科)、平成26年1月15日(木)(歯科) ▶時間 午後7時30分~9時	火曜 サルモネラ・陽炎ピブリオ	金曜 子どものインフルエンザ予防
		水曜 産(ちつ)カンジダ症	土曜 お酒は敵か味方か

Information

インフォメーション

パソコン何でも相談会

- ▶期日 平成26年1月8日(木)、22日(木)
 - ▶時間 午後1時30分～3時30分
 - ▶会場 町共同福祉施設2階パソコンルーム
 - ▶内容 パソコン操作の分からないことについての個人相談
 - ▶対象 どなたでも
 - ▶参加費 無料
- ※ノートパソコンなど、持参できる人は持ってきてください。
- ▶問合せ先 生涯学習課

町民文化講座

邑楽町公民館では、さまざまな分野で活躍されているかたがたをお招きして、町民文化講座を開催します。心に響く太鼓の音色やテレビでおなじみの声優さんのお話を聴きながら、心の栄養を蓄えてみませんか。

【第1回】



上州ろう太鼓「心響」の皆さん

- ▶期日 平成26年2月1日(土)

- ▶出演 上州ろう太鼓「心響」の皆さん
- ▶内容 聴覚障害者をメインとし、太田市を拠点に活動する和太鼓集団。耳が聴こえない代わりに身体と心で音を感じ取ります。メンバー全員で心をひとつに合わせ、思いを込めてたたき出すリズムで、観てくれる人、聴いてくれる人に、心に響く太鼓の音色をお届けします

【第2回】



マスオさん役でおなじみの増岡さん

- ▶期日 平成26年3月2日(日)
- ▶講師 増岡弘先生(声優)
- ▶内容 人気アニメ「サザエさん」のマスオさん役や「それいけ!アンパンマン」のジャムおじさん役でおなじみの人気声優。群読講演や小中学校での読み聞かせなどでも活躍しています。今回はサザエさん一家の日常生活を顧みながら「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい」と題してご講演いただきます

【各回共通事項】

- ▶時間 午後1時30分～3時30分(午

- 後1時開場)
- ▶会場 邑楽町公民館
- ▶対象 どなたでも
- ▶定員 150人
- ▶参加費 無料
- ▶申込開始 12月21日(土)午前9時から整理券を配布
- ▶申込・問合せ先 邑楽町公民館

カクテキ作り教室



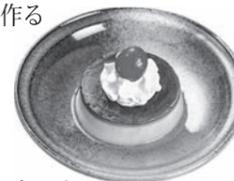
カクテキを食べて、冬を乗り切りましょう

- ▶期日 平成26年1月22日(木)
- ▶時間 午後6時30分～9時30分
- ▶会場 長柄公民館
- ▶内容 大根を使ってカクテキ(大根キムチ)を作る
- ▶対象 18歳以上の人
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶参加費 1,200円(材料代)
- ▶申込開始 12月18日(木)午後6時30分
- ▶申込・問合せ先 長柄公民館

子どものためのおやつ作り教室

- ▶期日 平成26年1月29日(木)

- ▶時間 午前10時～正午
- ▶会場 長柄公民館
- ▶内容 かぼちゃプリンとカラフルなお好み焼きを作る



- ▶対象 18歳以上の人
 - ▶定員 16人(先着順)
 - ▶参加費 500円
- ※保育希望者は幼児5人まで(事前申込・先着順)。
- ▶申込開始 平成26年1月8日(木)午前10時
 - ▶申込・問合せ先 長柄公民館

親子白鳥観察会



白鳥を間近で観察してみませんか

- ▶期日 平成26年2月1日(土)
- ※小雨決行、荒天の場合は中止します。
- ▶時間 午前10時～11時30分
 - ▶会場 ガバ沼駐車場(中野沼東側)
 - ▶内容 親子で白鳥を観察・勉強する

- ▶対象 小学生とその保護者
- ▶定員 20組(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶申込開始 12月21日(土)午前10時
- ▶申込・問合せ先 長柄公民館

青年ボクササイズダイエット講座



体を動かして健康づくりをしましょう

- ▶期日 平成26年1月21日(木)、28日(木)、2月4日(木)、18日(木)、25日(木)、3月4日(木)、11日(木)(全7回)
- ▶時間 午後7時30分～9時
- ▶会場 ヤングプラザ
- ▶内容 ボクシングの動きを取り入れた運動で体を動かす
- ▶対象 16～35歳の人
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶申込開始 12月17日(木)午後7時
- ▶申込・問合せ先 ヤングプラザ

青年美しい体づくり講座

- ▶期日 平成26年1月23日(木)、30日(木)、2月6日(木)、13日(木)、20日(木)(全5回)

- ▶時間 午後7時30分～9時
- ▶会場 ヤングプラザ
- ▶内容 体のゆがみやリンパの流れを整えて、美しい体づくりをする
- ▶対象 16～35歳の女性
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶参加費 300円(教材費)
- ▶申込開始 12月19日(木)午後7時
- ▶申込・問合せ先 ヤングプラザ

展示会

「きりえと公民館33年間の歩み」展

- ▶期日 12月20日(金)～26日(木)
- ▶会場 町立図書館1階展示室
- ▶内容 きりえの展示など

ペーパーアート展

- ▶期日 平成26年1月5日(日)～19日(日)
- ▶会場 町立図書館1階展示室

米山秀暁と書友会展

- ▶期日 平成26年1月22日(木)～26日(日)
- ▶会場 町立図書館1階展示室
- ▶内容 書道作品の展示

お知らせ(年末年始の休館日)

- 邑楽町公民館、長柄公民館、ヤングプラザ、町民体育館
- ▶休館日 12月29日(日)～平成26年1月3日(金)

No.44 大好き文化財

邑楽庶民と富士信仰③

～旧高島村の富士信仰～
邑楽町文化財保護調査委員
大塚 孝士



西祀開神社境内にある富士塚(藤川地内)

秋妻では、玉取神社境内に富士塚を築き石祠の浅間神社が祀られ、刻銘には「嘉永二年(1849)八月別当玉命山宝泉寺」とあるので当時は寺が神社を管理していたこととなります。現在は付随すべき烏帽子岩などは見当たりません。

藤川では、文久元年(1861)に富士塚を築き石祠の浅間神社を祀り、明治8年(1875)には富士講として「富士神社50度登山大願成就」の記念碑を造立。明治35年に神道扶桑教の小教生相場原行氏は「富士登山33度」の大願を果たしました。山腹には烏帽子岩・小御嶽神社が富士山を模して忠実に再現してあります。

石打では、菅原神社古墳をそのまま富士山に見立て富士塚とし石祠の浅間神社を祀り、刻銘には「明治十三年(1880)再建」とあるので、これ以前に浅間神社は祀られていたこととなります。江戸時代末からの富士講に対する弾圧の影響もあって、明治5年に菅原神社が村社として祀られたため、浅間神社はその西側脇に移設され現在に至っています。そのため山腹にあるはずの烏帽子岩や小御嶽神社は麓に移設されました。明治31年(1898)地元先達による「富士登山33度」を祝し記念碑が造立され富士講が重要な庶民の一部であったことを教えています。

TOPIC 青少年健全育成推進大会を開催します～大声コンテスト出場者募集～

- ▶期日 平成26年2月8日(土)
 - ▶時間 午後2時～4時
 - ▶会場 役場3階大会議室
 - ▶内容 優良青少年・育成功労者の表彰や小・中学生の人権作文発表、大声コンテストなど
 - ▶対象 どなたでも(大声コンテスト出場者は小学生)
- ### 【大声コンテスト出場者募集!】
- ▶内容 大声を出して声の大きさを競う
 - ▶対象 小学生
 - ▶定員 30人(先着順)
 - ▶申込開始 12月16日(月)午前9時
 - ▶申込・問合せ先 生涯学習課



町青少年推会長から表彰状が贈られます

■教室・講座などの申し込み方法 ▶申込開始当日 申し込み開始時間に申込先の窓口に、本人または家族の人が直接申し込んでください。
▶申込開始日翌日以降 定員に満たない場合、電話での申し込みを受け付けています。

邑楽町公民館☎88-1290 長柄公民館☎89-0123 町民体育館☎88-5355 町立図書館☎88-5900 ヤングプラザ☎89-1501 生涯学習課☎47-5043



産業祭の「お米のつかみ取り」コーナーは、毎年大人気



←産業祭では、タワー戦隊スワ
ンジャーショーも行われました



↑邑多福まつりの体験コーナー
「骨密度レベルチェック」

行 第20回産業祭・邑多福まつり2013
列のできるお祭りは、大盛り上がり!

11月3日、役場周辺で第20回産業祭、保健センターでは邑多福まつり2013が、それぞれ開催されました。産業祭では、無料で楽しめるイベントも数多く行われ、長蛇の列ができました。邑多福まつりでは、屋外ステージや体験コーナーなどに多くの来場者が集まりました。

長 スマイルキッズキャラバン
柄小学校出身の横山選手もゲストで登場

10月30日、青少年広場でザスパクサツ群馬のスマイルキッズキャラバンが行われ、柄小学校の生徒たちが、ゲーム形式のサッカーを楽しみました。この日、柄小学校出身の横山翔平選手もゲストで登場。子どもたちと一緒にゲームを楽しみました。



先 長柄幼稚園のさつまいも掘り
生、大きなさつまいもとれたよ

10月30日、長柄幼稚園でさつまいも掘りが行われました。園庭の畑で子どもたちは、宝探しのように目当てのさつまいもを掘り当てようと、つるをひっぱり土を掘り返し一生懸命でした。園庭には、子どもたちの元気な声が響きわたっていました。

子 世代間交流グラウンド・ゴルフ大会
子どもからお年寄りまで和気あいあい

11月3日、松本公園で谷中蛭沼地区の「世代間交流グラウンド・ゴルフ大会」が行われ、子どもからお年寄りまで一緒になってコースを回り、交流を深めていました。ホールインワンが出たグループからは、ひととき大きな歓声もあがっていました。



未 邑楽町少年少女レスリング大会
来のメダリストが集結!

11月17日、町民体育館で第9回上武洋次郎杯邑楽町少年少女レスリング大会が開催され、全国各地から46チーム428人の選手が参加しました。コーチや保護者の声援の飛び交うなか、選手たちは日頃の練習成果を発揮し、熱戦を繰り広げていました。

町のさまざまな話題を
PHOTO PALETTE
カメラでおいかけます。フォトパレット

皆さんの身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報を「広報おうら」編集部まで、お気軽にお寄せください。☎47-5007

邑 楽中学校の職場体験学習—町内外65か所183人の生徒たちが参加

広報の仕事って楽しい



↑高島幼稚園では、園児たちの稲刈り風景をカメラに納めてきました

10月17・18日、邑楽中学校2年生の生徒たちが職場体験学習を行いました。磯美貴菜さんは、邑楽町役場で「広報おうら」を作る仕事を体験。担当者と一緒に、取材にも出掛けました。磯さんは、「身近にある広報誌が、どのように作られているか興味があり、この職場を希望しました。私の夢は、宇宙関係の仕事に就くことです。もし、JAXAに就職して広報担当になった時のことを考えて、町の広報の仕事も体験してみたかったです」と笑顔で話していました。

私も実際に取材へ出掛けました

新米記者が突撃取材!



邑楽中学校2年
磯美貴菜さん

広報おうら編集部で
職場体験



私が撮りました

←黒田建築さんでは、青木龍一くんが大工仕事を一生懸命していました。青木くんの将来の夢は、お父さんの解体業を継ぐことだそうです。そのために、まず始めに家の構造などを学ぼうと、この職場を選択したと話してくれました



私が撮りました

↑小澤康弘さんの田んぼでは、大塚健人くんが稲刈りの手伝いをしていました



2区の公民館で行われた「自分流りメイク教室」取材。町民の人が、快くインタビューに応じてくれました

カメラ操作は難しいけれど、写真を撮るのは楽しい!

取材をするときにも、ただ写真を撮り、インタビューをするだけではなく、その取材先の人達とのコミュニケーションが大切だと学びました



スマイルみつけた!



みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。町民の皆さんが集い、自由に意見を語り合う広場です。

ひとつこと

産業祭に行くのはわが家の恒例行事

家族で産業祭に行ってきた。子どもがよろこぶ無料配布もあり、楽しかったです。来年も家族みんなでいきたいです。

PN.さくゆき

邑楽町のことが大好きなんです

邑楽町に住んで15年。家を建て、子どもも生まれ、この町が大好きです。もって邑楽町の良さを知ってもらうために、何かできることはないかなと考えています。広報おうらや、図書館は町外の人から、とてもうらやましがられます。

PN.ほのぼの



PN.リーガル・ハイ



KOHO 広報クイズ

問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

- 【今月の問題】**
- 第1問 街角特派員レポートの今月号の内容は？
 A. 消防団の若者事情 B. 消防車の解説
 C. 事情があつて休み（ヒント2～7ページ）
- 第2問 あすへひとつことに掲載されている物語は？
 A. サンタの嫁入り B. 横綱の土俵入り
 C. キツネの嫁入り（ヒント裏表紙）

応募方法 はがきに、答え（例：第1問-A）・住所・行政区・名前・年齢を書いて郵送

あて先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係

締切 12月13日（当日の消印有効）

※当選者は広報おうら1月号で発表します。

- 【11月号の当選者】**（応募数38通、全問正解38通）
- | | |
|-----------|------------|
| 島田立雄（4区） | 小林郁夫（7区） |
| 原 博子（12区） | 卯月良江（15区） |
| 増尾駿介（22区） | 久保田尋美（24区） |
| 黒岩 愛（25区） | 木次寅吉（28区） |
| 小林奈保（34区） | 中村美夏（34区） |



PN.ブラックLOVE♡

情報板

イベント



※入場制限を行う場合があります。

◆問合せ シンボルタワー 88-8686

◆問合せ 役場産業振興課 47-5026

緑寿式典開催&実行委員募集

邑楽町熟年力を活かす会では、緑寿式を開催します。また、実行委員も募集します。

【緑寿式】

- ▼日時 平成26年3月21日（土）午前10時
- ▼会場 邑楽町公民館
- ▼対象 町内在住、昭和22年4月～昭和26年3月生まれの人
- ▼参加費 1,000円
- ▼実行委員募集

▼応募資格 緑寿式典対象者で、式典と邑楽町熟年力を活かす会に参加できる人

▼募集人員 若干名（男女を問いません）

【共通事項】

- ▼応募締切 12月21日（土）
- ▼申込・問合せ 邑楽町熟年力を活かす会事務局（梅田） 88-9431

緑化講座

- ▼日時 平成26年1月23日（土）
- ▼時間 午前10時～正午
- ▼会場 県緑化センター
- ▼講師 佐藤泰史先生（普及指導員）
- ▼定員 60人（先着順）
- ▼申込方法 電話で申し込む
- ▼申込開始 平成26年1月6日（土）
- ▼申込・問合せ 県緑化センター 88-7188



シンボルタワーが元旦に臨時開館

- ▼期日 平成26年1月1日（日）
- ▼時間 午前6時～正午
- ▼入場料 1000円
- ※就学前の子どもは無料です。



わが家のアイドル
 金井美香さん・優奈ちゃん
 （石打・20区）

優奈は、元気でおてんばな子です。NHK・Eテレの「いないいないばあ」に登場する、「ワンワン」が大のお気に入り。外でブランコに乗るのも大好きで毎日のように乗っては、はしゃいでいます。家では、テーブルのぼって大きな声で喜んだり、パパと追いかけてっこをしたりして、いつも元気いっぱいです。将来は、お友だちみんなと仲良くできる、思いやりのある子に育ててほしいです。

DREAM 夢



木村 翼さん 22歳
 Tsubasa Kimura（石打・20区）

■現在何をしていますか？
 現在、大学の英語コミュニケーション学科で、ビジネスの場で必要な実践的な英語力と、コミュニケーションの取り方などを専門に学んでいます。毎週日曜日には大好きなサッカーをして、心も体もリフレッシュさせています。最近手に入れた一眼レフカメラを片手に、普段気付かないような場所を、写真に撮ることも、今楽しんでいる趣味のひとつになっています。

■将来の夢はなんですか？
 私は、アメリカに留学経験があります。大学2年生の20歳の頃、オレゴン州の大学で1年勉強していました。おこづこの生活は、とても充実していましたが、食べ物のカロリーが高く、10キロ太って日本に帰ってきました。将来の夢は、世界中を回ることに。特にインドに行ってみたいですね。旅先での出会いや出来事など、一つひとつが刺激になり、新しい発見にもつながるからです。

俳句 文芸

台風一過割れゆく空に西日差す
 つかまらぬいなご追いかけてはねる孫
 体中秋のひろがる孫用意
 秋天やアルプスを背に松本城
 残照や影のもつる花芒
 タぐれや土間跳ねまわるかまど虫
 天高し屏風ヶ浦の幾万年
 独酌の憂い盛る泡虫時雨
 いわし雲一人の家を一人発つ
 風呂敷に包む乗飯友の来る
 餅ついて夫の笑顔のすがすがし
 柿紅葉宿の器に数かれおれり

- 福島 慶子 石橋弥代江
 宮尾 静子 斎藤真紀子
 今井 里智 小林トヨ子
 金子 典子 船生三江子
 小嶋フジ子 中繁貴美子
 大塚 初代 中谷 和子

秋風や道路工事の音運ぶ
 山の幸野の幸あふれ秋の市
 来し方を問答しつつ秋遍路
 握り飯雲を着に秋日かな
 秋著し昔にかえる同窓会
 風の海秋灯こぼし船の行く
 一匹の迷いカラスや秋日和
 金婚の帯に仕上げの秋扇
 秋日和幼稚園児のはしゃぐ声
 新築届く隣の主代替わり
 老犬へ置いた座布団暮の秋

- 大塚 久子 早川 亨
 金子 睦子 長谷川繁樹
 村上 文子 安富 耕二
 松崎ナミ子 岡田 尚美
 新井 政子 青山 房江
 築比地秀男

短歌

当日券は一時間待ちのスカイツリー人はつくづく日本一が好き
 あちこちの金木犀のかぐわしき頭くらくら夢うつつなり
 戻り夏体が馴れず悲鳴あげ秋が短くほら冬そこに
 人の名を不意に忘る寂しさを老令なると己れなぐさむ
 テレビでは華津の湯畑映りて共に孫せるとき友しのぶ
 信濃路にびんころ地蔵に会いにたり同じ思いか詣うてる人ら
 大長茄子は三日採らずば枝のごと土にとどきて枝を支える
 ぶるると携帯電話が鳴り響き主の行く手は固定電話へ
 境内を歩む老夫の傍らで今を盛りと彼岸花咲く
 うす紅のコスモス愛でて母しのぶ彼岸に入りて墓前へ供える
 木犀の香る道の辺ポケットのラジオは報ず台風の接近
 震災の傷あとのこる青葉城伊達政宗の哀れかなしも
 松林日傘まわして行く人の紺地の浴衣は母の面影

- 山田 勝江 曾我 公子
 持田 静江 沼田とし子
 潮とみ 横山ヒサ江
 板橋 浩子 島田 初美
 橋本 俊幸 茂木いく子
 山崎 静子 宮崎トヨ子
 菅谷千枝子

投稿大募集

①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句 ⑤告知コーナー（イベント案内やメンバー募集など）
 ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

●あて先 〒370-0692（住所は不要）邑楽町役場企画課広報係
 ☎47-5007 ☎89-0136 E-mail koho@town.ora.gunma.jp
 ※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

広告面



毎年、菊花展に向けて丹精込めて菊を育てている飯塚さん夫妻

これからも夫婦二人三脚 大輪の花を咲かせたい



飯塚春男さん シナ子さん
(秋妻・17区)

春男さん1932年生まれ。シナ子さん1933年生まれ。第44回大泉菊花大会では、大泉町長賞をシナ子さん、大泉教育長賞を春男さんが受賞。その他数々の菊花展で入選を果たしてきた。夫婦共通の趣味は、菊の栽培。

飯塚春男さん、シナ子さんが本格的に菊を育て始めたのは平成8年頃。それまで地区の老人会で菊を育てていましたが、大泉菊花会に入会し、菊の育て方を一から学び直したことがきっかけで、自宅で菊の栽培を始めました。その後、夫婦で数々の菊花展で入賞を果たしてきました。

「菊を育てるのは大変です。特に注意しなければならぬのは害虫。アブラムシやダニを防ぐために、週一回は消毒。虫のついた菊は、出品できませんからね」と春男さん。

「新たに芽が出た菊をポットに移し替え、肥料を与えながら大切に育てています。来年の菊花展にむけて、もう準備しなくてはなりません」とシナ子さんは話します。

朝、目が覚めて、新聞を取りに行く前に、必ずする日課は菊の生育の確認。すくすく育っている様子を必ず見ているそうです。

「菊のこととなると、夫婦で喧嘩することもしょっちゅうあります。でも、長年連れ添った夫婦だから、すぐ仲直りします」と、結婚生活の年

輪を重ねること56年目の夫婦は語ります。

シナ子さんは、過去に大病をわづらい、入退院を繰り返してきたそうです。今では元気に、菊を育てるのが唯一の生きがいにつながっていると語ります。

「体が丈夫なうちは、これからも二人で一緒に立派な菊の花を咲かせて、菊花展に出品していきたいですね」と二人は笑顔で語ります。菊の栽培を通じた夫婦二人三脚の「生きがいづくり」は、これからも続いていくのです。

● 邑楽町民合唱団 ●

邑楽町民合唱団は、歌うことが大好きなメンバーが集まって結成されたサークルです。メンバーは60～70歳の女性16人。毎週水曜日の午後7時30分～9時まで、邑楽町公民館で活動しています。サークルでは和気あいあいとしたなか、みんな楽しく合唱しています。また、邑楽町公民館まつりや、邑楽町吹奏楽とコーラスの集いなどのステージで、歌声を披露することもあります。歌を歌うことはストレス発散にもなり、美しさを保つことにもつながります。現在メンバー募集中。音符の読めない人でも大丈夫。興味のある人はぜひ見学に来てみてください。私たちと一緒に楽しく合唱してみませんか。お問い合わせは、邑楽町公民館 ☎ 88-1290 へ。



若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けします—。

あすへひとこと

第三十一回

Asue Hitokoto

邑楽町の昔ばなしより

キツネの嫁入り

今から七十年ほど前のある日の夕暮れのことでした。おばあさんが七歳か八歳の孫に、「今晚キツネの嫁入りを見に行くからね」と言いました。

孫は、キツネの嫁入りとはどういうことかと、いぶかりながらも夕食を早く済ませて待っていました。辺りが暗くなると、おばあさんは孫を連れて、前谷集落の畑の南の方の隅まで出かけました。

「あのこんもりした山の方をよく見ているよ。いまに何か起きるからな」と、おばあさんは孫に言いました。

南の方には夜目にも光善寺村の森がこんもりと見えます。その北側を流れている孫兵衛川の辺りを、おばあさんと孫は、じいっと見詰めていました。こうして、しばらくたちましたが何の変化もありません。おばあさんと孫は半ばあきらめかけていました。

すると、突然おばあさんが小

さな声で、「来た来た」と叫んで、指さしました。おばあさんの、指さす方をよく見ると、光善寺の森の手前、孫兵衛川の裏の方の暗闇の中に小さい光が見えてきました。よく見ていると、その光が二つ三つ、時には五つ六つになって点滅しながら左右に動いています。

孫はおばあさんの手をしっかりと握り締めています。おばあさんも一言もしゃべらずじっと息を堪えて見つめています。しばらくすると光は消えて見えなくなりました。

「よくみたか、あれがキツネの嫁入りだよ」という、おばあさんの声で、われにかえった孫は、世の中には不思議なことがあるんだな、と思いながら、おばあさんに手を引かれて家に帰りました。

七十年ほど前のあの場所は、今では打ち開かれて、住宅団地が出来、孫兵衛川も立派にコンクリートで護岸され、往時を偲ぶものどてなく、ただこうした体験談が語り継がれているだけです。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会
平成10年12月31日発行「高齢者の語り(第六集)あすへひとこと」より



イラスト◆漫画家ヒトミスナガ(西ノ根宮内中島・24区在住)

広報おうら

ORA TOWN Public Relations

平成25年12月号 No.567

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎0276-88-5111 (代表)

☎0276-47-5007 (企画課直通)

☎0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>
E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト
2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。
携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>



実り豊かな田園
(秋妻地内)



Photo 根岸定男(記録ボランティア)



この広報誌は、自然保護のため
植物油インキを使用しています。

